

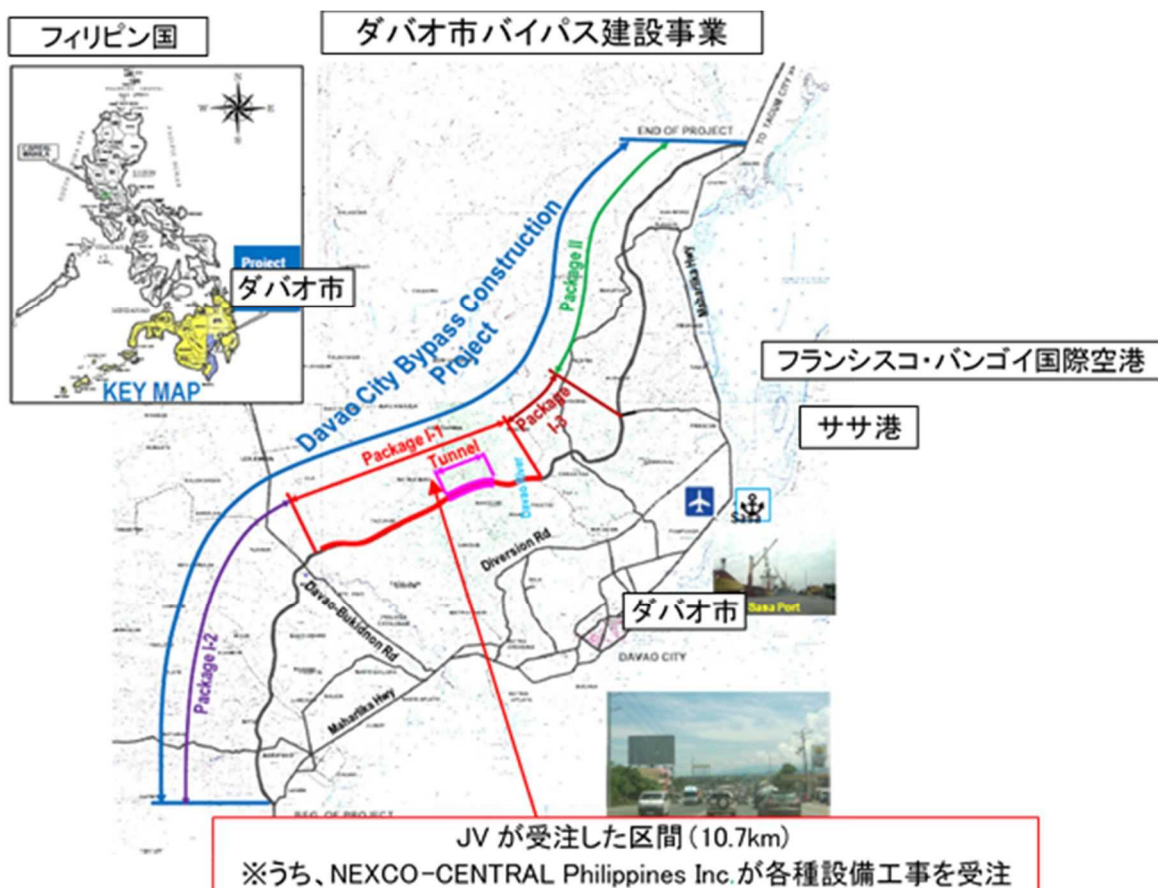
ネクスコ セントラル フィリピンズ インク
フィリピン国の現地法人「NEXCO-CENTRAL Philippines Inc.」が受注した
ダバオ市バイパス建設事業のトンネル設備工事などの現況

NEXCO 中日本のフィリピン国の現地法人「NEXCO-CENTRAL Philippines Inc.」(フィリピン国マカティ市、President・森英治)は、清水建設株式会社(本社・東京都中央区)、株式会社竹中土木(本社・東京都江東区)、Ulticon Builders, Inc.(本社・フィリピン国ダバオ市)の共同企業体(JV)から、ダバオ市バイパス建設事業の一部工事を2020年12月29日に受注(契約)しました。

ダバオ市バイパス建設事業約30kmのうち、フィリピン国の公共事業道路省からJVが受注した10.7kmの工事において、NEXCO-CENTRAL Philippines Inc.は、2.3kmのトンネル設備工事、管制システム工事などを実施しています。フィリピン国の道路では初の長大トンネルの設備となり、現在、トンネル施設の設計業務などを進めています。

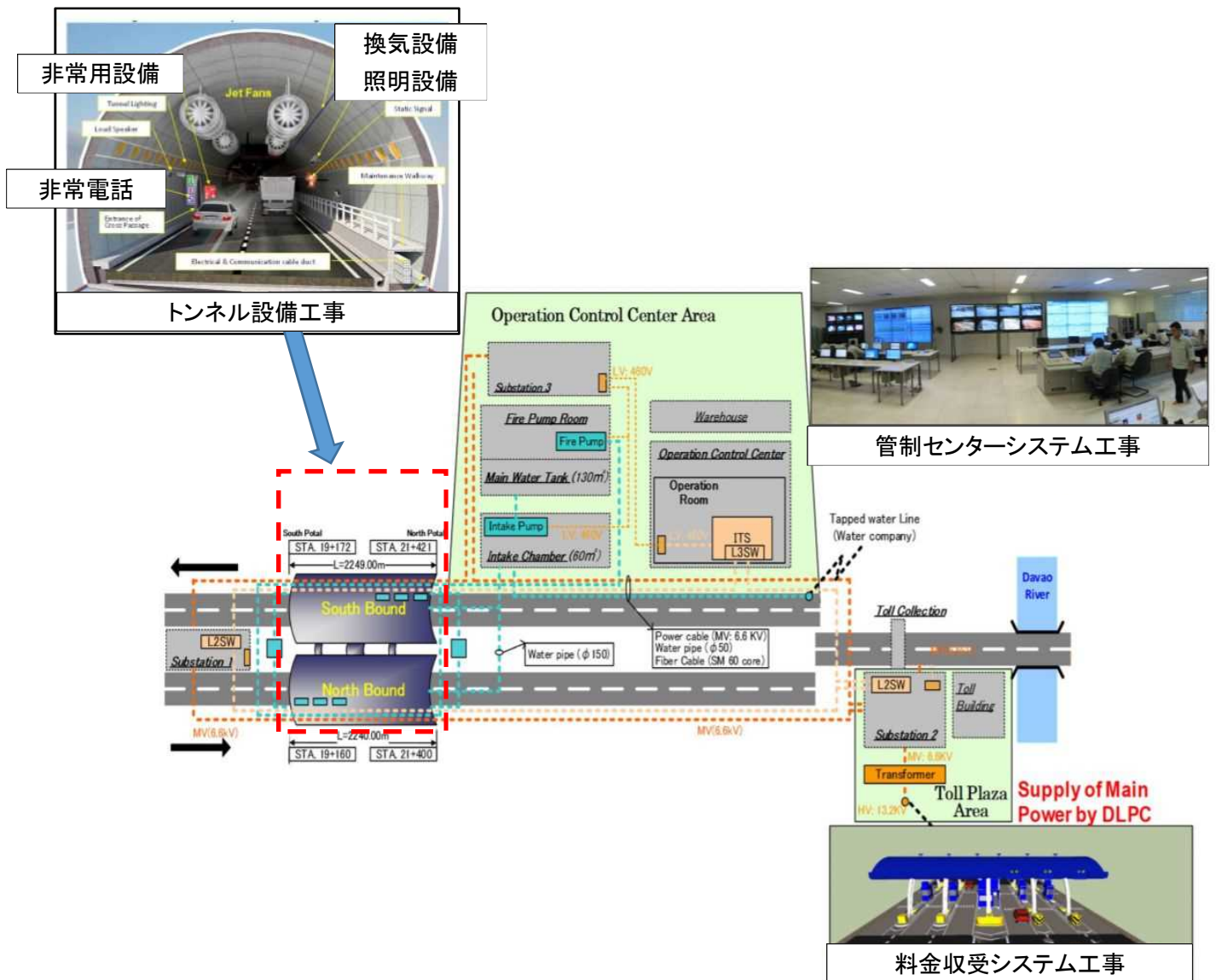
1. ダバオ市バイパス建設事業の概要(JV受注分)

- 事業名：ダバオ市バイパス建設事業
- 事業形態：円借款事業
- 事業箇所：フィリピン国 ミンダナオ島 南ダバオ州 ダバオ市
- 発注者：公共事業道路省 DPWH(Department of Public Works and Highways)
- 工事工期：約37カ月(2024年1月まで)



図—1 位置図

2. NEXCO-CENTRAL Philippines Inc が受注した工事概要(トンネル設備工事、管制システム工事など)



図—2 NEXCO-CENTRAL Philippines Inc.が受注した工事概要イメージ

<参考> フィリピン国の現地法人の概要

- 会社名 : NEXCO-CENTRAL Philippines Inc.
- 設立日 : 2019年10月14日 (営業開始日 : 2019年12月1日)
- 資本金 : 5,000万フィリピンペソ
- 株主 : 中日本高道路株式会社(99.9%)
- 所在地 : フィリピン国マカティ市
- President : 森 英治

令和3年11月25日
道路局企画課

**フィリピン公共事業道路省とトンネルの建設・O&M¹(運営・維持管理)
に関する協定を締結しました**
～ダバオトンネルの起工にあわせて、トンネル分野での連携を一層強化～

令和3年11月24日、国土交通省はフィリピン公共事業道路省と、トンネルの建設・O&Mについての連携協定書に署名しました。

日本の高速道路会社のO&M技術の共有やビジネスワークショップの開催等を通じて、トンネル分野の連携を一層強化していきます。

■協定書の内容

- (1) 署名日 : 令和3年11月24日(水)
- (2) 署名者 : 齊藤鉄夫・国土交通大臣、メルカド・フィリピン公共事業道路臨時大臣
- (3) 協定の概要 :
 - 日本側からの協力
トンネル、特にO&M分野の技術協力の推進及び災害時のマネジメントスキル等の共有
 - フィリピン側からの協力
日本の高速道路会社のビジネス活動の支援、ワークショップの開催
 - 両国で取り組む事項
トンネルのO&M分野における二国間協力の強化、ワークショップ開催プランを検討・作成



齊藤大臣による署名



メルカド臨時大臣による署名

【問い合わせ先】

国土交通省道路局企画課国際室 北潤(きたま)、小嶋

電話(代表) 03-5253-8111(内線37542) (直通)03-5253-8906 (FAX)03-5253-1618

¹ Operation and Maintenance : 運営・維持管理

■協定締結の背景・今後の取組

ダバオバイパスはダバオ市南端部と同市中心部を結ぶバイパス道路（約2.3kmのトンネルを含む）事業で、フィリピンでは初の本格的な道路トンネル（ダバオトンネル）が建設される予定です。令和2年4月に清水建設・竹中土木・フィリピン企業JVが受注しており、本邦技術活用案件（STEP案件）として工事が進められています。

令和3年11月19日、フィリピン公共事業道路省のメルカド臨時大臣らは、ダバオトンネルの起工状況を視察されたところです。

今般、国土交通省とフィリピン公共事業道路省は、ダバオトンネルの起工を契機として、ダバオ・ダルトンを始めとしたトンネル及びトンネル関連施設の建設・O&Mについての協力を深化させるべく、両大臣で連携協定書（Memorandum of Cooperation：MOC）を締結することになりました。

本協定においては、両国のトンネル分野での協力を深化させるとともに、来年度以降、日本の高速道路会社とフィリピンの建設会社が参加して、ワークショップ開催についての協力が確認されました。

具体的には、ワークショップについては、来年3月までに両国で具体的なプランを作成し、新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえつつ、その開催に向け準備していく予定です。

関連事業の概要

